

## ふつうってなに？

城山小学校 2年  
竹内 瑛玲奈

わたしは、0さいから4さいまでタイのバンコクでくらしていました。タイの人たちはみんなやさしくて、いつもニコニコしながら話しかけてくれたのをおぼえています。これは、バンコクでわたしの家ぞくがけいけんして、教えてくれたできごとです。わたしたちがバンコクにひっこしたばかりのある日、リビングの天井にあるエアコンから水がぽたぽたとたれてきました。エンジニアさんをよんで見てもらっていたら、とつぜん水が、パッシャーンと天井からながれてきました。すると、エンジニアさんたちが、「マイペンライ、マイペンライ!! (だいじょうぶ、だいじょうぶ)」

といってわらっていたそうです。ひっこしにもつや、わたしの赤ちゃんグッズも、かぐも水びたしになって、おかあさんはパニックになってしまって、

(ふつうはこんなときにわらったりしないのに、、、)

と、かなしくなったそうです。でも、あとでタイの人たちにとっては、あいてがピンチやこまったときこそえがおを見せるのが「ふつう」と知ったそうです。エンジニアさんたちは、本とうはおかあさんをはげましたかったのです。わたしはそれを聞いて、日本のふつうとタイのふつうはちがうんだなと思いました。日本とタイでほかにもちがうことはあると思います。でも、知らないだけであいてのことをわるく思ったり、かんちがいしてしまうことがあるんだなと思いました。

わたしはたまに、お友だちにかなしいことばを言われてきずつくことがあります。わたしはそういうとき、なにも言えなくてかなしい思いをして1日すごしています。でもそんなとき、お友だちの本とうの考えをちゃんと聞いてみようと思いました。言うのにはゆう気がいるけど、おなじ日本人でもみんな考え

かたはちがうから、お友だちの考えも聞いてだいじにしたいです。そうすれば、もっとお友だちとなかよくなれるとしんじています。

わたしは、3年生からアメリカにひっこしをします。そこでまた、たくさんの「ふつう」にであうと思います。アメリカ人だからとか、日本人だからとかじゃなくて、みんな一人一人がみんなちがって、ちがう人だから、「ふつうはこう。」ってきめつけないことがたいせつだと思います。あいての考えを知らないだけで、かんちがいしてしまうのは、とてもかなしいです。わたしは、お友だちやまわりの人、これから出会う人の思いをたいせつにしていきたいです。

